地域包括ケアの現場から



対馬市医療統括官 対馬市いづはら診療所 所長

桑原 直行

ケアに取り組んでいるが、 崎県対馬市は高齢化が進み、 対馬市における在宅医療、看護、 生産年齢人口が福岡に吸い込まれており、 介護の状況は、 施設・人材いずれにしても厳しいのが現状だ。 少子化対策は急務である。医師として地域包括 文化的

棄地を活用し、 きがいをもって暮らせる地域づくりにつなげることができるだろう。 な資源が存在する。これらを活用し、 住民が主体的に考え、行動することにより解決することができる。対馬市には独自の豊かな自然、歴史、 世代間交流や固有種の保護などが進められている。 かつ雨森芳洲の説く 「誠信の交わり」にならい島内外の人々の協力を得て、 その実践が「アグリパークプロジェクト」 である。 高齢者が生

生きがいづくり、 の実現を目指している。 誠信の交わりの三つを柱に、 00年後も持続可能な島づくりとして *Future Island

少子高齢化の大津波

ます。女性が一人当たり何人子どもを産むかと 馬の65歳以上人口は2020年がピークになり 現実はそうではないのです。 夫なのではないかと思われるかもしれませんが のままいけば次第に高齢化率も下がって、大丈 いう合計特殊出生率は2・18と高いです。 が高いこと自体が問題ではないと思います。 対馬では高齢化が進んでいますが、

時に島から出てしまいます。 がありませんので、 若い女性がいなければ子どもが生まれ 生産年齢人口、つまり働き手は減って しかも対馬には大学や専門学校 子どもたちは高校卒業と同 っれます。 最近では、

ります。 高齢化が進みますと、当然社会保障費は上が 地域の産業が低迷すれば税金収入は減

> と、物価は上がる。 最終的には主力産業の漁業も衰退します。 生態系も崩壊して河川の栄養価が下がるので、 産業(農業・林業)が崩壊してきます。すると、 者の居場所がなくなってきます。昔は対馬に映 食料自給率が低下し、 全くありません。働き手がいないことで、 画館やボウリング場もあったそうですが、 向けの政策が中心になりがちです。 住民の負担増です。 しまいます。 つまり、 市の借金が増え、最終的には 高齢化率が高いと、高齢者 生活苦で住民が島から出て 島外への依存が強くなる すると、 今は

実的になってしまいます(34頁図1)。 思われるかもしれませんが、 夕張の二の舞になりかねませんが、防衛の島と 化し、人手を吸い込んでいる現状です。対馬は して頑張れるかもしれない。 一番怖いのは、 福岡が完全にブラックホ そんなばかな!と 何かしなければ現

(図 2) ESD の概念図



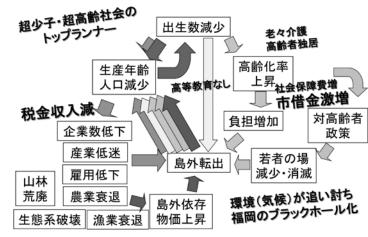
出典: 文部科学省ウェブサイト http://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm

護ス たり 6月に初めて在宅療養支援診療所を立ち上げま より 宅療養支援診療所 倒的に少ない てさらに割合は下 これを人口 問系サ 明らかに少ないです テ 0 馬では広さ、 用者は65歳以上の 1万人当たりで見ますと、 数値とあまり変わり - 均と長崎県は、 ショ 臓当たり です 10万人当たりで見ていきます。 ンは2か所で、 ビスの現状に 交通の便の悪さも問題ですの か所しかありません。 がります (36頁表1)。 病院は3・2と、 で考える必要があ 65歳以上 人が大半ですから、 (36頁表2)。 ない つい (36頁表3)。 全国的にみると圧 のです 全国平均と比 て、 人口1万人当 全国平 が $\bar{0}$ 訪問看 ŋ ます そ 6

0

均

(図1)対馬市 負のスパイラル



題です。

そして教育、

後ほど前

田さん

0)

お

話

もあとに効果が現れることですが

最

優先課

Sustainable

Development:

持続可

能な開発の

出

てきます

が、

Е

S

D

(Education for

ための教育)

は重要です

 $\stackrel{\text{(2)}}{\mathbb{Z}}$

出典:報告者作成

逃げるわけにも

か

な

からです。

では

馬を飲み込もうとして

11

・ます。

これ

は、

大昔

0

新羅連合軍や元寇より

神風が起き

少子高齢化の大津波というもの

が、

今にも対

この

大津波に立ち向かうの

か。

今からでは準備

えなければならな

11

と思

13

・ます。

では、

どうするの

か。

少子化対策は何

十

不足の感があ

りますの

で、

波乗り感覚で乗り

対馬の訪問系サ ビスの現状

2

から生活モデ や在宅看護、 は基本的に、 在宅介護だと考えています。 ĺV の移行で、 地域包括ケ その Ź とは医療モ 要が在宅 医療 対馬

全国には強化型の在宅支援診療所もあり

ます

対馬では在宅医は私一人です。

都会なら5

悲惨な数字が並び

 $\widehat{36}$

頁表4

対馬の地域包括ケアシステムの要とよぶべき

みました。「家畜の思考」または「思考停止」です

まだピンとこない人のために対義語を考えて

全の人で運営している訪問看護ステーションのの人で運営している訪問看護ステーションも含め地図上に落とし込むと、 では2つの総合病院と、私が立ち上げす。島内では2つの総合病院と、私が立ち上げす。島内では2つの総合病院と、私が立ち上げす。より、無いも同然です。これは足りないと言うより、無いも同然です。これは足りないと言うより、無いも同然です。これは足りないと言うより、無いも同然でも、ぎりぎりの2・5人体制が2つあるだけでも、ぎりぎりの2・5人体制が2つあるだけでも、

か入職していません。 では、予定職員数が60人のところ、まだ45 かいません。 これは訪問系の職種だけの問題ではありませ ているのが現状です。 の取り合いが始まっています。 介護職の求人3人に対し、 の離職も進み、 昨年開設した特別養護老人ホ 病院や施設の調理師、 ケアプランが立てら 入職者より退職者が多く 求職者は ケアマネー 6 れな i ム

専門職や関連職が少ない上に高齢化が進んでいます。老老医療、老老看護が始まっているといっます。老老医療、老老看護が始まっているといっます。老老医療、老老看護が始まっているといっます。それなります。対馬は連携したくても連携が条件となります。対馬は連携したくても連携生がなく、人材を求めても、福岡のブラックホール化が進んでいます。

生きることを考える「野生の思考」で

ものねだりはしない。 Bricolage(ブリコラージュ)をやって、ない素晴らしい文化を生かしていくことに尽きます。素晴らしい文化を生かしていくことに尽きます。

表1 対馬市の訪問サービスの現状

X 1 X M I I V D I I I I I I I I I I I I I I I I				
	在宅療養支援 診療所·病院	訪問看護 ステーション	訪問介護 (夜間対応型)	訪問リハビリ テーション
全国	15,795	9,589	33,071 (203)	3,444
長崎県	332	90	417 (3)	614
対馬市	1	2	6 (0)	1
			, , , ,	

表2 対馬市の訪問サービスの現状(10万人当たり)

	在宅療養支援 診療所·病院	訪問看護 ステーション	訪問介護	訪問リハビリ テーション
全国	12.3	7.5	25.8	2.7
長崎県	24.1	6.5	30.3	44.6
対馬市	3.2	6.4	19.0	3.2

表3 対馬市の訪問サービスの現状(65歳以上 1万人当たり)

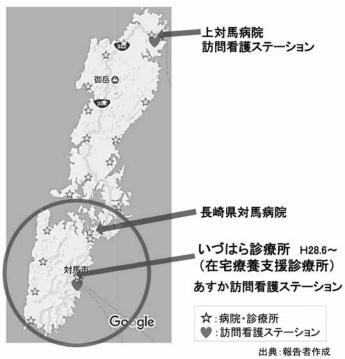
	在宅療養支援 診療所·病院	訪問看護 ステーション	訪問介護	訪問リハビリ テーション
全国	4.51	2.75	9.45	0.99
長崎県	8.14	2.20	10.24	15.07
対馬市	0.94	1.89	5.60	0.94

表4 対馬市の訪問サービスの現状(100㎞当たり)

X + Niming or mile 2				
	在宅療養支援 診療所·病院	訪問看護 ステーション	訪問介護	訪問リハビリ テーション
全国	4.2	2.5	8.7	0.9
長崎県	8.1	2.2	10.2	15.0
対馬市	1人体制 0.14	2.5人体制 0.28	0.85	0.14

(表1・2・3・4とも2016年10月現在)

(図3) 対馬市の医療機関の分布状況



つまり 意味です。 生きる知恵を使わず、 固定観念から抜け出 生かされているような状態、 [せず、 何となく生きて 創造力に欠け いる

で考えて行動に移すことが重要です。 民ではなく、 況で飼いならされている医療 る」です。 大切なことは、 は抜け出さなければなりません。 自分たちがどう生きたい 0 てもらう、 「主体的に生きることを考え 指示される 行政・ かを本気

来なら地域包括支援セン 芸人のブ 対馬でも地域住民のつながりが希薄化 っても気楽に相談する場がありません。 「待ってちゃ駄目。 待つの」と説い ゾンちえみさんは恋愛につ ター ていますが、 の役目です。 です。 医療 いて お笑

(*2)

に集落に出てもらい、 対馬の地域包括支援セ スクエアステップの講習 ンター

> 会や夜の座談会・講演会の開催を通じて、 医療の相談を受けています。

だけ 地域マネ 括ケアシステムは、 なりません。 先ほど内藤理事長からもご紹 と考え、 ではなく、 行動することが重要です。 行政も住民も自分で生き方を 地域みんなの生き方の話です。 制度を活用してい 医療・介護・ 福祉や高齢者 かなければ 地域包 11

- ス (1908―2009) が1962年に発表(*1)「野生の思考」は、フランスの文化人類学者クロ・ 想史最大の転換を引き 起こした。 本書の中で、わゆる構造主義ブームの発火点となり、 フランス りあわせの道具材料を用いて自分の手でものをつくる」 ことを意源的な思考について説明する際に、Bricolage(器用仕事)つまり「あ 究を基礎に現代思想を論じた本書は、 2009) +発行)に由来する。世界各地の先住民族研(日本語版は大橋保夫訳『野生の思考』みす(の一番では、「野生の思考」みずい。「1900)が1962年に発表した代表的著作。La フランスにおける戦後思
- 齢者の転倒予防・認知機能向上を含めた要介護化予防のほか、 埋揚して開発した、科学的根拠に基づくエクササイズ。 横幅・ツ医学や老年体力学などを専門とする国立大学法人の教 √使用し、前進・後退・左右・斜めとステップを踏む。高奥行250㎝の面を25㎝四方の升目(スクエア)で区切っ

4_. 対馬には本当に何もない

もできるのです。 湾では海なのに鏡面像が見られ、シーカヤック が流れている異次元の世界「鮎もどし」、浅茅 わる日本の顔だったわけです。 る蔵も残っています。 石垣の塀が並んだ歴史ある町並みや、 化8(1811)年、易地聘礼の際に整えら さんもぜひ、対馬、 う?」と平気で言います。 倒的な大自然があります。 馬の人たちは 「対馬には何もない 厳原においでください。 つまり、 本当でしょうか?皆 一枚岩の上に川 そして、対馬に 対馬は江戸に代 鏝絵のあ こて え(*4) でしょ れた、

事などの無形文化財もあります。 海神神社などの神社仏閣、 も私たちは防人と同じ風景を見ることができま 梅林寺、 人が築いた古代要塞の金田城からは、 万松院、 和多都美神社、 亀ぎる 習 盗まれた仏像 八幡宮 赤米神 今で

> も返ってきたように、祈りと交流の遺宝がたく さんあります。 いる島なのです。 つまり、 自然と歴史が融合して

て互い 界記憶遺産)」に登録されました。 だから対馬のよさに気付いていない。 とっては昔もいまもこれが当たり前の世界です 交の心得として 鮮方佐役として活躍した雨森芳洲先生は、 す。つまり、島外の支援者や関係する人々としっ なかなか難しいので、外から意識を変えるので 識を変え、 食はあり過ぎて困るぐらいですが、 てノドグロ、アナゴと、概念を打ち砕くような かりつながってい 朝鮮通信使は、 すなわち「人情、 に欺かず、 ろくべい、 誇りを持つことですが、 「誠信の交わり」を説い ユネスコの くことが重要だと思います。 争わず、 りやき、対州そば、そし 事勢を知り、 真実をもって交わ 「世界の記憶 対馬藩の 対馬の 内からでは 人々の意 てい 朝

他職種連携、町づくりでも絶対に必要です。 る。」これは医療でも、患者さんや家族との対応

育てていく文化だと思います。 材がこの誠信の交わりをもって、 のシステムを考えています。 係なく育て、100年後の島を夢見た町づくり 私は多様性や変化に対応できる人材を年齢に関 対馬の地域包括ケアシステムの概念として 島内外の多様な人 一緒につくり

と思います。 も行っています。 さまざまな島外支援者に来ていただき、講演会 地域社会を守るのは地域住民ですから、ケー テレビを使って盛んに啓発していますし ぜひ住民にお話をしていただきた 後ほど基調講演をされる西村

がない」「生きがいもない」という声を聞きます そんな島に若者は希望を抱きませんから、 か?外来では 対馬の高齢者は楽しく生きているのでしょう 「何もすることがない」「楽しみ 意識

を変えてもらおうということです。

ません。 昔を取り戻す。気持ちが若返って、 くなってくるのです。 齢者はだんだん楽しくなって、 できません。文化や自然は絶滅したら復活でき 昔の対馬について、話を聞かなければ伝承も 昔を思い出して話してもらううちに高 ワ 何かやりた クワ クする。

こうということです。 まず場をつくり、 誰かと一緒ならできるということです。 ません。高齢者と一緒にいろいろなことを学ん したいと思います。 何か役割を持って、 が生きがいを持てる町づくりをやっていこう。 でいきたいと思います。 そういうことを誰がやるか。 遊びながら学ぶ、 集まって話をする。 子どもも高齢者も一緒に働 決して強制労働ではあり これは一人ではなく イベントやお祭りも われわれ お 互 高齢者 いに

Keynote speech

- (* 3 簡素化が議論された。 結果最後となった1811年には、寛政の数百人規模の使節||行の接待に膨大な費用負担が生じたことから ど様々な文化的交流を行 朝鮮通信使は朝鮮国王が江戸幕府に派遣した使節で、 改革を行った松平定信の決定により、 を行った。その旅程で、 などの慶賀のため に、さらに京から徒歩で江戸に向かい、江戸城で国書の交換(『広辞苑』)。 使節|行は船で釜山から瀬戸内海を経由して 対馬に約2か月滞在した。 行った。 しかし江戸幕府と各藩にとっては使節は日本人に大陸の文化をもたらすな 8 通信使||行は「易地聘礼| -年まで12回にわたり来日遣した使節で、将軍襲職
- 漆喰を塗った上に鏝で風景や肖 (『広辞苑 像などを描き出した絵。
- (*5) www.pref.nagasaki.jp/bunkadb/index.php/view/528 照(2018年4月20日閲覧)。 料として記録保存を行うべく ではここのみとなった。 宮中の祭祀に関与-社の祈年祭 (としご 凶を占う方法。 ・亀卜に携わる職) とは亀の甲を一定の作法で焼き、 長崎県学芸文化課・長崎県の文化財ウェブサイト http:// 「亀卜伝義抄」を伝え、 対馬豆酘(つつ)の岩佐家は、亀卜を世襲するを|定の作法で焼き、生じたひび割れによって吉 していたものであるが、 のまつり)に奉仕 Pうべく、国から無形民俗文化財に選択さよって古代の民俗知識を伝える貴重な資 壱岐や伊豆の 奉仕している。 対馬の卜部 (う今日なお旧暦正月3日の雷神 亀卜習俗の伝承は今日 卜部とともに古代には 参
- nagasaki.jp/bunkadb/index.php/view/516年4月20日閲覧)。 県学芸文化課・長崎県の文化財ウェブサイを伝える頭仲間が1戸になり、その存続が 対馬市厳原町豆酘に伝わる、 頭仲間 (とうなかま) その存続が危ぶまれている。 2018 長 行崎事
- ?「銅造如来立像」(重要文2年に対馬市の海神神社、 れも長崎県指定有形文化財)が韓国人窃盗像」(重要文化財)と「銅造観世音菩薩坐 観音寺、 多久頭魂神社からそ

- れた。
 団に盗難され、 「銅造如来立像」は2015年7月18日に返還さ外交問題まで発展するという事件が発生した。 う
- (*8)

Keynote speech

5 グ ij ク プ ロジェク

置され あ 棄地 か つ どもには石や草の根っこを拾っ T ح お話をしながらの グ 0 た土地をみ .交流が生まれてきます。 パ う間に畑になってきます。 生に ク プロジェクトでは、 ŋ んなで草取 みました。 お昼ごはん、 ŋ ても て、 年以 まず耕作放 み 11 À つの 耕 上も放 なで楽 らうと、 して

グ 固有種の豆や対州そばも植えています。 う 一 パ 保存していかなければい 課題は、 湿地にはツシマサン 固有種を守 けません ることです シ 3 ウ

表示保 をつく 地域 13 かと考えます 9 7 島外の 11 それ 支援者がコミ 地 地域ごち ユ ニテ ゃ まぜケ 1

ケア

ア

で

とこ 機も自分たちでつ どもも高齢者も一緒になって脱穀 2 スも設け 連れの参加者もい できます ては初めての 13 いました。 人ではつら どころで文化の伝承が始まります。 17年11月25日 地域の 血圧測定や脱水対策も行 い作業も、 くり 経験で楽しか ・ました。 人々 っました。 ア 、がたく みんなでやると楽 ij パ 子 9 さん します。 たよう ども た ク ソ 訪 0 たちに れ、 まし です を子 穫祭

に乗っ このように、 は てみたい子どもたちには乗っ 0 11 て収穫 ・ました。 お昼寝がしたくなります。 ピ げ窯も 農作業だけでなく、 加工 したおそばを つくり りました。 てもら ラク 遊び 食べ 夕 11 0 ま 食

そばは原種に近い品種 度に登録 申請を行って で、 います。 今回 的

にか 伝っ えてもら てく おかげさまで、 'n 0) できます。 13 空間が生まれ み んなで作業をすると、 対馬 芽が出 東京の学生や韓国 てきます。 をまいて の高齢者に干 て、 花が咲 ただきまし 11 0 方を教 方も手 て、 0

くっ てもら できることを楽しめる場にして 0 識 の最終目 ました。 のある が生まれてきます を超えて 参加 的 高齢者も若 いるの は、 者が 齢や ではない いましたが、 0) ため 病気 人 13 どの かと思わ くことで 杖をつ 関係 交流 農作

こそが本当に人間が健康な状態だと思います 一環です。 笑いにあふれた豊かな生活、 見守ることは これ

ではありません。 私たちは命をいただくという

熟成しても チゴ チゴの苗を持参し 今年はぜひ皆さん

非常に甘

バチを集めて養蜂に取り なと思い

などをつく これを復活させてワ

シシもただ獲ればよいというもの ウラボシシ

ツシマウラボシシジミ

ソバを刈り取り、干す



ソバの種をまく



手づくりの脱穀機



ソバの花が咲く



覚悟が必要だと思います。



ケヤブハギ



くることも計画中です。

鰹節ならぬ鹿節をつ

© Future Island TSUSHIMA,

なってくるでしょう。 循環型といったエネルギーシステムも必要に して、環境に優しいものができるのではないか のではないか。 マンドバスのようなものが意外に早く実現する の実証実験も可能性があります。 号機も少ないということを考えると、 介護ロボットなどの実証実験も進むと考えます。 までできるようになります。 NTTドコモも4Gから5Gに整備を進めてい ると思います。そのためにも高速ネットワーク いことを逆手に取れるかもしれません。さらに 対馬には過去と未来をつなげていく役割があ 対馬は線路がない 将来は遠隔診断や遠隔診療、 電気自動車、 そうなると当然、 ので踏切がない。 むしろ人材が少な 電気自転車の島と 自動運転のデ 島内完結型 自動運転 しかも信

> とが大切です。 要があると思います。 誠信の交わりです。 Education:住民やさまざまな職種と一緒に町 さまざまな知識を集めて町づくりに取り組む必 をつくること)とESDが重要です。 携)ではなく、 (Inter Professional Education:専門職間の連 りです。 対馬の三つの柱の一つ目は、生きが そのためにも、 二つ目は教育です。 TPE (Trance Professional 島内、 島の誇り 島外、 国外を含め 三つ目は

皆さんも東京の雑踏を離れ、対馬で哲学をしてみてはいかがでしょうか。100年後の対馬のために、皆さんと一緒に、Future Island TSUSHIMA、を実現したい。そのためにも、皆さんの知恵と力、つまり気付き・分析・発想・替さんの知恵と力、つまり気付き・分析・発想・もたくさんの方のご協力を得ながら頑張っていきたいと思います。

